

平成30年度 第2回蓮田市都市計画審議会会議録

|       |  |                   |
|-------|--|-------------------|
| 招 集 日 | 平成30年12月25日（火曜日）   |                   |
| 開催場所  | 蓮田市役所 3階 304会議室  |                   |
| 開催日時  | 開会 平成30年12月25日（火）午前10時30分<br>閉会 平成30年12月25日（火）午後12時00分   |                   |
| 出席状況  | 会 長 奥 沢 信 男  | 出席・ <del>欠席</del> |
|       | 副会長 本 澤 秀 一  | 出席・ <del>欠席</del> |
|       | 委 員 石 井 文 枝  | 出席・ <del>欠席</del> |
|       | 委 員 大 沢 昌 玄  | 出席・ <del>欠席</del> |
|       | 委 員 門 井 隆  | 出席・ <del>欠席</del> |
|       | 委 員 近 藤 純 枝  | <del>出席</del> ・欠席 |
|       | 委 員 田部井 稜 人  | 出席・ <del>欠席</del> |
|       | 委 員 藤 村 茂 樹  | 出席・ <del>欠席</del> |
|       | 委 員 中 里 幸 一  | 出席・ <del>欠席</del> |
|       | 委 員 齋 藤 昌 司  | 出席・ <del>欠席</del> |
| 出席職員  | 蓮田市長 中野 和信<br>都市整備部長 関根 守男<br>都市計画課長 金子 克明<br>都市計画課 副主幹 塚本 孝<br>" 主事 石垣 翔太   |                   |
| 傍 聴 者 | 1名   |                   |
| 1 開会  | <p>（金子都市計画課長）</p> <p>本日は、委員の皆様におかれましては、年末のお忙しい中、御出席いただきまして誠にありがとうございます。</p> <p>ただ今から、平成30年度第2回蓮田市都市計画審議会を開会させていただきます。</p> <p>私は、本日の司会を務めさせていただきます都市計画課長の金子と申します。どうぞよろしくお願いいたします。</p> <p>さて、本日の議事は、2点ほどございます。</p> <p>1点目は、蓮田市社会資本整備総合交付金（都市再生整備計画事業）評価委員会としてご審議いただきます諮問事項、社会資本整備総合交付金事業に係る事後評価についてです。対象地区については、蓮田市中心市街地地区と蓮田市閨戸貝塚周辺地区の2地区です。</p> <p>2点目は、蓮田市都市計画審議会として報告させていただきます、蓮田都市計画蓮田駅西口第一種市街地再開発事業および蓮田サービスエリア（新上り線）建設工事の進捗状況に係る報告事項でございます。</p> <p>御審議のほど、よろしくお願いいたします。</p> |                   |

|               |  |
|---------------|--|
| <p>2 会長挨拶</p> | <p>それでは奥沢会長より御挨拶をお願い申し上げます。</p> <p>(奥沢会長)</p> <p>皆さん、おはようございます。年末のお忙しいなか出席いただきまして誠にありがとうございます。</p> <p>本日議案は、諮問事項として社会資本整備総合交付金事業の事後評価について、それから報告事項として、蓮田駅西口第一種市街地再開発事業、蓮田サービスエリアの建設工事の進捗状況についてです。</p> <p>今日は変則的な時間で、時間が限られておりますので、もしかしたら報告事項については、次回1月に審議会が予定されておりますので、その時に説明していただくことになるかもしれません。</p> <p>議案1つ目の社会資本整備総合交付金ですけれど、前回内容を説明していただきました。その後、一連の手続きや変更が済みまして、本日は事後評価についての審議ということでございます。</p> <p>後で事務局から説明があると思いますが、審議は今日と次回、2回行いまして、次回に成案としてまとめたいと考えております。</p> <p>この交付金については前回説明がありましたが、これは市町村が地域の特性を活かした都市再生整備計画を作っていただいて、幅広い事業が、個別では交付対象にならないようなものまで、全体として交付対象となるということで非常に良い制度だと思います。</p> <p>本議案につきましても、御審議のほどよろしく願いいたします。</p> <p>(金子都市計画課長)</p> <p>ありがとうございました。</p> <p>続きまして、執行部を代表いたしまして、中野和信蓮田市長から御挨拶を申し上げます。</p>           |
| <p>3 市長挨拶</p> | <p>(蓮田市長 中野 和信)</p> <p>皆さん、おはようございます。奥沢会長、委員の皆様方、大変お忙しいところ御出席いただきまして、本当にありがとうございます。</p> <p>本日の主な議題につきましては、ただ今奥沢会長よりお話がありましたように、社会資本整備総合交付金事業でございます。</p> <p>今年度は交付金事業最後の年度ということで、後ほど、詳細を御報告申し上げますが、この事業がスタートしたのが平成26年度で、事業は5年間でありました。</p> <p>平成25年度頃にこの制度ができ、都市計画課を中心に内部で検討いたしました。当時は財政的に逼迫しておりまして、たくさんやりたい事業があったのですが、財政的な手当てがうまくいかなかった状態でありました。ちょうど時同じくして、この社会資本整備総合交付金が国土交通省の事業で社会資本が整備される、しかも保育園なども対象となるということでした。総合文化会館も同様で、この事業はいち早く手を挙げるべきということで手を挙げさせていただきました。</p> <p>国のスタートが平成26年度でしたから、蓮田市は全国に遅れをとることなく、いち早く手を挙げ、まだまだ全国的に普及される前でしたので、社会資本整備総合交付金で総合文化会館周辺の道路整備に抱き合わせて、総合文化会館の整備を行いました。もう1つ、中心市街地地区の事業については、リノベーション事業で2分の1という補助率が有利な事業を申請いたしました。</p> <p>事務方の努力もありますけれど、通常社会資本整備総合交付金と2分の1の社会資本整備総合交付金のリノベーション事業、5年間で2つの事業を各自</p> |

|       |  |
|-------|--|
| 資料の確認 | <p>治体で持っているというはおそらく他にないのではないのでしょうか。</p> <p>そのような点では、今回は、とても蓮田市のまちづくりの大きな事業に寄与していただいたと思っています。</p> <p>総合文化会館もできました。周辺の道路も今年最後の大型発注をしておりますし、中心市街地のほうは、保育園がすべて整いまして、現在、最後のリノベーション事業で東保育園が年度内完成となっております。</p> <p>この5年間の当事業の効果たるや、とても蓮田市としてもありがたいことと思っております。事業の総括的な結果を国のほうへの報告がありますので、今日はその辺のお話を中心になるかと思いますが、どうぞよろしくお願い申し上げます。</p> <p>閩戸貝塚周辺地区の事業については、総合文化会館について、文部科学省の補助制度が終わりましたということで、補助がゼロということでありました。どのような手当をしたらよいだらうということを経験したところ、社会資本整備において、閩戸貝塚周辺の道路整備事業の基幹事業として総合文化会館の財源を確保できました。</p> <p>ですが、文化会館については、当時、反対運動が出ました。国は国の行う事業について、地方でいろいろな意見が出ますと、少し慎重になりがちになります。今回も、残念ながら1年の導入時期のずれが出ました。</p> <p>この1年ずれたことによって、補助額が減りました。あの時、スムーズに行っていたら、もっと有効な財源手当が確保できたのではないかと思っています。</p> <p>次の年、1年先送りになり、又、補助金も減りましたが、国のほうで総合文化会館も1つの補助事業対象としていただいたという経緯があります。残念なこともありますが、結果的にできたのでよかったですと思っております。このことは、担当者からは言えないお話だと思っておりますので、あえて私から申し上げます。</p> <p>どうぞよろしくお願い申し上げます。ありがとうございました。</p> <p>(金子都市計画課長)</p> <p>ありがとうございました。</p> <p>ここで、市長につきましては所用にて御退席させていただくことをお許しいただきたいと存じます。</p> <p>それでは、議事に入る前に、お手元の資料の確認をさせていただきます。事前にお配りした資料でございます。最初に、</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 次第</li> <li>・ 審議資料の目次</li> </ul> <p>一番下に今後のスケジュールを記載しておりますので参考にさせていただければと存じます。次に、</p> <p>資料1 諮問書の写し<br/> 資料2 答申書の様式案<br/> 資料3 評価委員会の審議記入例</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 蓮田市中心市街地地区第2期</li> <li>・ 蓮田SAスマートインターチェンジ周辺地区</li> </ul> <p>資料4 事後評価委員会説明資料<br/> 資料5 方法書</p> |
|-------|--|

|        |   |
|--------|---|
|        | <ul style="list-style-type: none"> <li>・蓮田市中心市街地地区</li> <li>・蓮田市閨戸貝塚周辺地区</li> </ul> <p>資料6 事後評価シート原案</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・蓮田市中心市街地地区</li> <li>・蓮田市閨戸貝塚周辺地区</li> </ul> <p>資料7 ホームページ（パブリックコメントの抜粋）</p> <p>資料8 広報はすだ11月号（パブリックコメントについての広報誌）</p> <p>資料9 都市再生特別措置法（抜粋）</p> <p>資料10 蓮田市社会資本整備総合交付金（都市再生整備計画事業）事後評価実施要綱</p> <p>資料11 蓮田市都市計画審議会条例、名簿</p>  |
| 定足数の確認 | <p>となっています。不足等ございませんでしょうか。<br/>それから、本日机の上に用意させていただいた資料が2点ございます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①蓮田都市計画蓮田駅西口第一種市街地再開発事業</li> <li>②蓮田サービスエリア（新上り線）建設工事</li> </ul> <p>①については、事業の概要でございます。<br/>②については、図面と写真でございます。</p> <p>それではここで、委員の出席状況につきまして、御報告申し上げます。<br/>本日は、近藤委員から所用により欠席との連絡を受けております。<br/>ただ今この出席状況は、委員9名でございます。<br/>従いまして、蓮田市都市計画審議会条例第8条第2項の規定による定足数に達しておりますので、本日の審議会は成立することを御報告申し上げます。</p>   |
| 傍聴     | <p>それでは、これより蓮田市都市計画審議会条例第7条第2項の規定により、奥沢会長に議長になっていただき、議事の進行をお願いしたいと存じます。<br/>それでは、奥沢会長、どうぞよろしく願いいたします。</p> <p>（奥沢議長）<br/>よろしく願いいたします。<br/>議事に入ります前に、御報告することがございます。<br/>本日の審議会について、傍聴を希望されている方がおります。本審議会は原則公開での審議となっております。特に非公開とする内容は含まれておりませんので、今回も公開ということで実施したいと思っておりますが、よろしいでしょうか。</p> <p>（異議なしとの声）</p> <p>ありがとうございました。公開で進めさせていただきたいと思っております。<br/>事務局は、傍聴者を入場させてください。</p> <p>（傍聴者 入場）</p> <p>さて、議事に入ります前に、傍聴者に傍聴上の注意を申し上げます。<br/>先ほど事務局よりお配りいたしました、「傍聴にあたっての注意」をよく読み、遵守していただきたいと存じます。</p> |

|   |  |
|---|--|
| <p>4 議事</p> <p>(1) 諮問事項<br/>「社会資本整備総合交付金の事後評価について」<br/>(蓮田市中心市街地地区事後評価原案)</p> | <p>(奥沢議長)<br/>それでは、ただ今より蓮田市社会資本整備総合交付金（都市再生整備計画事業）評価委員会の議事に入りたいと思います。<br/>審議の進め方なのですけれども、地区が2地区あるので、長くなると思いますが、御説明は一括でお願いしたいと思います。<br/>まず事務局から諮問書の朗読をお願いします。</p> <p>(都市計画課職員から諮問書の朗読)</p> <p>(奥沢議長)<br/>それでは議案の説明ですが、時間が限られておりますので、先ほど申しましたように一括でお願いします。</p> <p>(都市計画課)<br/>それでは、原案の説明をさせていただきます。<br/>まずは「蓮田市中心市街地地区」からいきたいと思います。<br/>お手元の資料6、蓮田市中心市街地地区の事後評価シート原案の1ページをお開き下さい。事後評価シートの1ページ目様式2-1と2ページ目様式2-2はシートの概要をまとめたものになっています。なお、パブリックコメントについては、後程説明いたしますが、表紙とこの2枚が公開の対象となっております。<br/>1ページ目、「1）事業の実施状況」をご覧ください。こちらに実施した事業や、削除した事業を挙げています。当初計画から削除した事業は、地域生活基盤施設の緑地です。再開発ビルと一体的に整備することから、今回の計画からは削除しています。<br/>「2）都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況」については、指標1が未達成、指標2が達成という結果になりました。<br/>内容につきましては、指標1の「駅周辺の公的施設や道路に対する満足度」は、「蓮田駅利用者アンケート」によるものでございます。<br/>従前値43.4%、5年前に設定した目標値67.0%のところ、今回行った評価値は40.6%と従前値より低くなる結果となりました。<br/>目標達成度は×とし、1年以内の達成見込みはなしとしました。<br/>効果発現要因については、基幹事業である道路整備が事後評価時にまだ事業中であり、また子育て支援施設は利用者が限定されているため、駅周辺整備による変化が感じられないことなどが、従前値と同程度の満足度と目標を達成することができなかったと分析しております。<br/>しかしながら、子育て支援施設が整備され、後ほど説明します子育て世代の人口が増加していることやバリアフリー化された蓮田駅自由通路の利用者が増加するなど、他の整備効果が表れ満足度の増加が見込まれることからフォローアップは行わないこととしました。<br/>指標2の「子育て世代人口の集積（割合）」については、従前値28.3%、目標値29.0%のところ、評価値は29.1%と達成いたしました。<br/>「3）その他の数値指標による効果発現状況」については、当初、目標の設定を計画書に記載しなかったのですが、「階段歩行が困難な自由通路の利用者数」を計っておりました。これにつきまして従前値520人のところ、評価値は911人と大幅に増加しました。未達成の指標1を補完する指標として、着実に回遊性の向上や賑わい創出などにつながることを明示して、目標を達成できなかったけれど事業効果は確実にあった、ということを表現させていただきました。<br/>「4）定性的な効果発現状況」について、これは定量的な効果ではなく、文</p> |
|---|--|

章による定性的な効果発現状況を記載したものです。記載は5項目ありますが、都市再生整備計画の課題であったもので、整備により課題が解決されたと分析しています。

「5) 実施過程の評価」につきましては、蓮田駅西口地区まちづくり協議会に報告・意見交換し、今後の事業に活用することとしました。

2ページをお開きください。ここは整備済みの写真を載せることになっております。赤になっている部分は現在未整備で、年度内に完了予定である事業については、順次写真を差し換えていきたいと思っております。

「まちの課題の変化」の4項目は、課題は解消しつつありますが、継続的な課題を記載しました。

「今後のまちづくりの方策」は、駅利用者アンケートで課題に挙げられた意見や次期計画案等を参考に、今後の整備方針を記載しました。

続いて、方法書について、説明させていただきます。

資料5の方法書、中心市街地地区を御覧ください。この方法書は今年の6月に作成したもので、第1回評価委員会で報告させていただきました内容ですので省かせていただきます。こちらは事後評価の1年のスケジュールを示すものが、ほぼ、当初のスケジュールどおり進んでいることを御報告させていただきます。

次に資料6の3ページにお戻りください。事後評価シート添付書類の目次となっています。これらの項目を簡単に説明してまいります。

4ページをお開きください。成果の評価について、説明させていただきます。

都市再生整備計画に記載した目標の変更の有無です。事業を増減すると目標の設定も変更したりするのですが、今回はいずれも変更なしとさせていただきます。

5ページをお開きください。都市再生整備計画に記載した基幹事業の実施状況一覧になっています。道路など事業費も変わっておりまして、多少事業の増減があるのですが、緑地のみ削除をしております。

続きまして、6ページですが、提案事業、関連事業の実施状況一覧です。

提案事業がすべて空欄となっておりますが、地方都市リノベーション事業は、制度上、提案事業を設定できないので、そのため空欄になっています。その代り補助率が通常40%のところ50%ということになっております。

また、関連事業の再開発事業や都市計画道路整備事業は現在も事業実施中です。

7ページの数値目標の達成状況、定性的な効果発現状況は、資料6の1ページで説明済みですので、省略させていただきます。8ページのその他の数値指標についても、同様に省略させていただきます。

続きまして、9ページをお開きください。実施過程の評価についてです。

モニタリングは行っておりませんが、住民参加プロセスの実施状況および持続的なまちづくり体制の構築状況として、蓮田駅西口地区まちづくり協議会を通じて定期的に意見交換を行ったことを記載しました。

次に、10ページをお開きください。効果発現要因の整理について、説明させていただきます。

検討体制につきましては、11月15日に庁内横断的事後評価会議を開催し、事業の効果や原案公開の確認に至るまでの検討等を行いました。

続いて数値目標を達成した指標にかかる効果発現要因の整理についてですが、各事業が指標にどれくらい貢献したかを、表に◎、○、－で表しています。

事業の効果があつた影響度の濃さを表記したものです。

また、総合所見として、今後も持続可能な子育て支援を推進することや道路の美装化等により賑わいのあふれるまちを創出する必要があることなどを記載

しました。これは数値目標を達成したもののみ、このページに記載していません。

11ページをお開きください。こちらは数値目標を達成できなかった指標にかかる効果発現要因の整理についてです。

指標1の「駅周辺の公的施設や道路に対する満足度」については、事業の中で×となっているものがありますが、これは道路やバス情報板などが事後評価時に完了していないため、×と表現させていただきました。

要因の分類としては、市の人口減少傾向から分類Ⅲという外的な要因で予見が不可能な要因と位置付けました。今後は、引き続き道路や再開発ビル等の公共施設整備を図っていきたいと思っています。

皆様、ページが飛びますが、16ページをお開きください。事後評価原案の公表の妥当性について、説明させていただきます。

公表については、この表のとおり実施しました。参考に、資料7パブリックコメント掲載文も御覧いただきたいのですが、市のパブリックコメント制度を活用しまして、平成30年11月22日から12月6日までの2週間、原案を公表し意見を募集しました。

公表の方法は、市のホームページ、都市計画課窓口・行政資料コーナー、図書館、中央公民館、農業者トレーニングセンターで公開しました。

資料8の「広報はすだ11月号」では、原案を公表している旨を掲載しました。意見の受付方法については、担当課へ持参、郵送、FAX、メールで募集をかけました。

住民からの意見はありませんでした。公表結果、意見がなかったということについてもホームページで公表済みです。

また、公共施設からパブコメ資料の持ち帰り件数は、図書館の1件のみでした。

ホームページのパブコメ閲覧アカウント数は、2週間の総数は83件、1日平均に換算すると約5.9回となっており、6人弱の方に見ていただけたという状況となっております。意見はなかったですが、それなりに見ていただけたということをお報告いたします。

資料6に戻り、17ページをお開きください。評価委員会の確認について、説明させていただきます。

評価委員会は、方法書を報告した第1回評価委員会を7月10日に開催し、本日と次回11月24日の合計3回行います。

空欄になっている委員会の意見については、本日と次回の評価委員会で答申頂いたものを転記させていただきます。

また、18ページにつきましては、有識者からの意見聴取です。これは、評価委員会の委員の他に意見を聴取するもので、以前にはなかった様式で、ここ数年で新しく追加されたものです。蓮田市と連携協力に関する包括協定を締結している人間総合科学大学の、蓮田市まち・ひと・しごと創生有識者会議会長である中山准教授より御意見をいただきました。この御意見を記載していますので、読み上げさせていただきます。

・保育園に関して、一挙に3施設も対象とし、平屋建てから2階建てへと充実させるなどしたことで、待機児童の解消や保育の質の向上が期待できる。

・アンケートでは駅周辺の満足度が下がったが、これは現在進行中である蓮田駅西口再開発事業との混同によるものと考えられる。

・今回の道路の充実とバス情報板の設置は、蓮田駅西口再開発事業と密接な関係があり（前提条件とも言い得る）、相乗効果による蓮田駅周辺の発展が期待できる。

・ストリートファニチャーについては、文化財の活用という視点から高く評価

できる。文化財は地域を創生するための重要な地域資源であるにもかかわらず、ほとんど活用が進んでいないのが全国的な現状である。文化財が持つ知恵は、インターネットや書物などの媒体では活用を進めるのが難しいが、現場に設置するストリートファニチャーを媒体とすることで、活用の進展が期待できる。

・ただし、今回ストリートファニチャー設置の対象とされた庚申塔は、全国的に無数に造られたもので、蓮田市の特色とは言い難く、今後はより広い全国的な視野から見て蓮田市の特色を打ち出せる文化財を優先し、ストリートファニチャーを設置して行くべきであろう。

このような御意見をいただいております。

続いて、今後のまちづくり方策の作成について説明させていただきます。

資料6の12ページにお戻りください。今後のまちづくり方策にかかる検討体制についても、庁内の横断的な検討会議で、計画完了後のまちづくりについて意見交換や検討を行いました。

まちの課題については、事業前、待機児童対策や公共交通機関の利用促進、道路網の整備、既存の文化的施設や空地の活用法などが挙げられましたが、今回の計画による整備で課題を改善したと分析しています。

また、未解決の課題や新たな課題には、みどりの交流拠点の整備や市民との協働イベントの開催、商店街の活性化事業が挙げられました。

13ページをお開きください。これらの課題を改善するのに想定される事業は、再開発ビルの整備、歩行者系道路の高質化、自転車通行帯の整備、市道・都市計画道路整備、駐車場整備、街路灯整備、緑地・ポケットパーク等整備、商店街活性化事業などが挙げられました。

また、その他の意見としまして、2項目挙げさせていただきました。

駅利用者アンケートの結果から、商店街活性化事業や蓮田駅西口第一種市街地再開発事業の推進が不可欠であることが確認されました。

また、事後評価に反映できる事業執行体制を構築することが重要であること等が挙げられました。こちらについては、適正な事後評価に反映できるようにとの反省からでございます。

14ページは、説明済みですので、省略させていただきます。

15ページをお開きください。当該地区のまちづくり経験の次期計画や他地区への活かし方について説明させていただきます。

項目がいくつかありますけれども、その中で今回の事業でうまくいった点といかなかった点を記載していますので、要約して説明させていただきます。

うまくいった点として、保育園や公共交通網の整備が進められたことにより、「子育て世代人口の集積」の数値目標が達成されたことや事前・事後のアンケート調査による不特定多数の方から意見の聴取ができたこと等を記載しております。

うまくいかなかった点としては、「駅周辺の公共施設や道路に対する満足度」は従前値をも下回る未達成になったことや基幹事業の整備が最終年度の後半になってしまい、駅利用者アンケートの結果に反映できなかったこと等を記載しました。

続いて、今後の交付金活用予定については、来年から蓮田市中心市街地地区第4期を採択に向け策定中でございます。

また、事後評価を予定している地区については、この後説明いたします「蓮田市閨戸貝塚周辺地区」を同時に事後評価しています。

資料の説明は以上です。

諮問書の中の評価委員会の確認についてお話ししたいので、事後評価シートに項目はありませんが、資料2様式案をお開きいただけますでしょうか。

下から2番目の項目に、「今後のまちづくり方策は妥当か、委員会の確認」と



|                            |  |
|----------------------------|--|
| <p>(蓮田市閨戸貝塚周辺地区事後評価原案)</p> | <p>いう欄がありますので、全体をとおして事後評価原案が妥当か、御意見をいただきたいと思っています。</p> <p>以上で、蓮田市中心市街地地区の説明を終わります。</p> <p>(奥沢議長)</p> <p>次は、蓮田市閨戸貝塚周辺地区の説明ですが、ポイントを絞って説明をお願いします。</p> <p>(都市計画課)</p> <p>蓮田市閨戸貝塚周辺地区の御説明をいたします。</p> <p>お手元の資料6、蓮田市閨戸貝塚周辺地区のインデックスの事後評価シート原案1ページをお開きください。</p> <p>「1) 事業の実施状況」についてご覧ください。当初計画から追加・削除した事業はありません。</p> <p>「2) 都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況」は、指標1、指標2ともに達成しました。指標1の公共施設等の利用者数の増加は、従前値171,635人、目標値221,745人のところ、評価値は238,027人と達成になりました。</p> <p>指標2「レクリエーション施設へのアクセス環境の満足度」は、パルシーおよびハストピア利用者アンケートにより、従前値15.4%、目標値27.4%のところ、評価値は35.7%と達成いたしました。</p> <p>「3) その他の数値指標による効果発現状況」ですが、アンケート実施日のうち2日間のバスの乗降者数が、従前値3人のところ、評価値は64人と大幅に増加しました。</p> <p>「4) 定性的な効果発現状況」です。4項目を記載しました。</p> <p>2ページをお開きください。完成したハストピアや道路の写真を掲載しました。</p> <p>まちの課題の変化は、整備により芸術・文化活動の向上や地域住民の交流拠点化、アクセス性の向上が図られましたことを記載しました。</p> <p>今後のまちづくりの方策は、周辺をスポーツや文化・芸術活動の拠点として活用していくことと公共交通機関によるアクセス性の拡大を推進していくこと等を記載しました。</p> <p>続いて、方法書について、説明させていただきます。</p> <p>資料5に戻りますが、中心市街地同様に、蓮田市閨戸貝塚地区につきましてもほぼ当初のスケジュールどおり進んでいます。</p> <p>次に、成果の評価について、説明させていただきます。</p> <p>資料6の4ページをお開きください。都市再生整備計画に記載した目標の変更の有無です。すべて変更なしとなっています。</p> <p>続いて5ページをお開きください。都市再生整備計画に記載した基幹事業の実施状況一覧になっています。事業費および事業内容の増減はありましたが、事業の追加・削除はありませんでした。</p> <p>続きまして、6ページですが、提案事業、関連事業の実施状況一覧です。</p> <p>提案事業は、国の基幹事業のメニューにないハストピアのホールや楽屋等を地域創造支援事業に位置付けております。関連事業の交流ふれあい事業は、コスモスまつり等を毎年開催しています。また、情報案内板設置事業は設置済みです。</p> <p>7ページの数値目標の達成状況、8ページのその他の数値指標、定性的な効果発現状況は説明済みですので省略させていただきます。</p> <p>続きまして、9ページをお開きください。実施過程の評価についてですが、</p> |
|----------------------------|--|

モニタリング、住民参加プロセスの実施状況および持続的なまちづくり体制の構築状況は、方法書に記載のとおり実施しませんでした。

次に10ページをお開きください。効果発現要因の整理について説明させていただきます。

検討体制については、11月15日に庁内横断的事後評価会議を開催し、事業の効果の検討等を行いました。

続いて数値目標を達成した指標にかかる効果発現要因の整理についてですが、総合所見として、市民組織ハストピアサポーターズと協働で事業を行い、世代間・他分野交流を進めていくことや周辺道路網の充実に努めることを記載しました。

次は、ページが飛びますが、15ページをお開きください。事後評価原案の公表の妥当性についてとなっております。

資料に記載のとおり公表いたしました。参考に資料7パブリックコメント掲載文、資料8「広報はすだ11月号」と併せて御覧いただければと思います。

また、住民の意見はありませんでした。

16ページをお開きください。評価委員会の確認についてですが、評価委員会は、合計3回行うこととします。

17ページにつきましても、中心市街地地区と同様に有識者からの意見聴取を人間総合科学大学の中山准教授から御意見をいただきましたので、読み上げさせていただきます。

- ・地域交流センター・総合文化会館を完成させたことは、文化を愛する蓮田市民にとって、歴史的な成果であると高く評価できる。

- ・同施設は、従来は「箱物行政」と否定的に捉えられる類の施設ではあるが、現在急速に進展している心身健康科学の知見からは、逆に肯定的に捉えることができる。その根拠は、心を養う文化施設を、体を養う運動施設（総合市民体育館）に隣接させて建設した点にある。すなわち、「心から体へ」と「体から心へ」の相方向からの心身健康の増進が期待できるのである。

- ・また、蓮田市内で地域交流の基幹となる3つの場所、すなわち、地域交流センター・総合文化会館、総合市民体育館、コスモスまつり会場の周辺の道路を整備できたことは、地域住民の交流を促進する上で重要な成果と言える。

- ・実際に公共施設等の利用者数は、目標値を上回る実績を挙げており、従前値比39%増というのは、企業の売り上げで言えば数十年に一度あるかないかの好業績である。

- ・駐車場は600台、バスは1時間に3～4本と整備されているが、地域住民の交流を振興するには、最寄駅から4kmほども離れているという悪条件を低減させる政策が望まれる。

このような御意見をいただきました。

11ページにお戻りください。今後のまちづくり方策の作成について、説明させていただきます。

今後のまちづくり方策にかかる検討体制について、庁内の横断的な検討会議で検討を行いました。

まちの課題については、事業前は芸術・文化の拠点施設がないことや道路のアクセス性が課題となっていました。今回の計画による整備で課題を改善したと分析しています。また、未解決の課題や新たな課題には、周辺道路の更なる機能向上、利用施設の確保、公共交通の充実等が挙げられました。

12ページをお開きください。これらの課題を改善するのに想定される事業は、公演・イベントの常時開催、シャトルバス等公共交通の充実、道路改良工事などが挙げられました。

その他の意見としては、パルシー・ハストピア周辺道路のアクセス強化を図

|           |   |
|-----------|---|
| <p>質疑</p> | <p>ること、イベント時のシャトルバス増便など施設利用者の利便性の向上が必要であること等が挙げられました。</p> <p>13ページは既に説明しましたので、省略します。</p> <p>14ページをお開きください。当該地区のまちづくり経験の次期計画や他地区への活かし方について説明させていただきます。</p> <p>今回の事業でうまくいった点として、ハストピアやアクセス道路の整備が進み数値目標が達成されたことや計画変更により事業費・事業年度の整理を行えたことを記載しました。</p> <p>うまくいかなかった点として、市道16号線が繰越事業となり、計画期間中に事業が完了しなかったことを記載しました。</p> <p>また、次期計画や事後評価予定地区については、「蓮田市中心市街地地区」を記載しています。</p> <p>以上で、蓮田市閨戸貝塚周辺地区の説明を終わります。</p> <p>(奥沢議長)</p> <p>ありがとうございました。</p> <p>今日と次回と皆様から御意見をいただきまして、限られた時間ですので、今日の会議が終わった後に、次回の会議が円滑に進むように今日の会議で気づいた点などを事務局のほうに寄せていただきたいと思います。</p> <p>事務局のほうで資料を配っていただけますか。</p> <p>(事務局から資料配布)</p> <p>会議が終わった後に新たに気付いた点等をメモしていただいて提出してください。期日は1月11日くらいまでをお願いします。</p> <p>いい制度なのですが難しいところもありますので、項目ごとに書いていただいても構いませんし、気づいたことをざっくりばらんに書いていただいても構いません。事務局のほうで整理いたします。</p> <p>膨大な説明でしたが、皆さんのほうから御意見、御質問はございますか。</p> <p>評価については○とか×とかあるでしょうけど、手続きは非常に丁寧に行っていますし、効果もある程度出ているということであれば全体的には、私は妥当だと考えています。</p> <p>1つだけ思ったのは、資料2に答申の案があります。その次、細かく書いてあり、要はこの空欄は私たちが意見として書くところですが、「妥当である」と書けばそれだけでよいのでしょうか。「妥当でない」と書けばその理由を書く必要があるのでしょうか、それでも交付金は交付されますよね。「妥当である」場合に細かな理由が必要ですか。</p> <p>(関根都市整備部長)</p> <p>一般的に言えば、「妥当である」との一言でもいいと思われれます。</p> <p>前回の県の完了検査の時もアンケート調査などの資料や写真などを見ていただいて、事後評価シートも細かくチェックいただいて、特に問題を指摘されるところはございませんでした。</p> <p>前回もよく整理できていたので、今回の計画にもつながったのかなというところがございます。</p> <p>ただ満足にできなかったところは、それなりに整理が必要かと思いますが、妥当であるという評価については、細かく理由を書かなくても問題はないと考えています。</p> |
|-----------|---|

(奥沢議長)

分かりました。委員の皆様から何かございますか。

(石井委員)

今回、有識者からの意見聴取という資料が私にはとても分かりやすかったと思いますし、いいことが書いてあったと思いました。

気になったことは、文化会館の資料に「地域交流センター」、「総合文化会館」と書いてありましたが、同列して書いてあるので地域交流センターがあって、総合文化会館もあるような誤解を招くような表記かと思いました。「地域交流センターである総合文化会館」書いてあるところもあったので、統一したほうがよいかと思いました。

(奥沢議長)

関戸貝塚周辺地区の資料6の1ページ目ですね。

(都市計画課)

事業の実施状況のところで、基幹事業と提案事業に分かれていまして、1ページ目の上のほう、基幹事業の部分にあるのですが、これは国のメニューとして「高次都市施設」というものがあって、その中に「地域交流センター」というものがあります。こちらを文化会館で位置付けるという意味合いです。

細かく言いますと地域交流センターは、会議室など皆さんが交流していただく施設のことを指しまして、文化会館の中の会議室などを「地域交流センター」と位置付けるということです。

提案事業の「地域創造支援事業」の「総合文化会館整備事業」につきましては、市の発議によるもので、提案事業としました。これは国のメニューにないもので、例えばホールや楽屋などといった音楽に特化するものなど、地域交流というより専門的に使うものというものです。ただ基幹事業と一体化することで効果が期待できるものについては、提案事業と位置付けられるということで、このような2本立てになっております。

(石井委員)

7ページのブルーの欄の指標2の中に書いてある「総合市民体育館（パルシー）及び地域交流センター・総合文化会館（ハストピア）」のような表記はおかしいかなと思いました。このような表記が表の中にあちこちでできたので気になりました。「地域交流センター（総合文化会館）」や「地域交流センターである総合文化会館」の表記のほうがあっていると思います。

(関根都市整備部長)

表記については整理させていただきます。総合文化会館のホールだけでは交付対象にはならないので、ホールだけではなくて地域交流センターを併設することで交付対象としていただけたということがございました。

(石井委員)

分かりました。

(大沢委員)

妥当な結果であるのかなと思っているところではあります。

中心市街地地区の指標1で当初の設定より下回ったというところが気になりました。もう結果なので仕方ありませんが、今後も効果が出るように引き続き

努力を続けてほしいと思います。少し目標値が高かったのでしょうか。丁寧な説明が必要になるかと思います。

やり方は妥当だと思いますが、結果は結果なので、真摯にどう対応していくかを考えていくことが必要です。

(奥沢議長)

そのとおりだと思います。目標を達成しないというのは滅多にないことです。

いろいろ説明はあるのですが、そこは先生が言われたように、何らかの対応が必要だと思います。

(関根都市整備部長)

それについては、こちらで再度検討させていただきます。

もともとの数値が高かったのは、前回のアンケートをとったときは、駅のバリアフリー化がちょうど完成したときだったので、市民の方の評価がすごく高かったという事情が考えられます。エスカレーター、エレベーターが完成して身体障がい者の方の御利用やお子様連れの方や自転車による移動が不便だったところが便利になりまして、思った以上に評価が高かったのと、子育て支援施設である3つの保育園をこの事業の中に入れたのですが、もっと子育て世代の方の評価を得られるだろうという思いがあって、少し目標を高く設定し過ぎた面があるかもしれません。

意見についてはよく整理させていただきたいと思います。

(奥沢議長)

他にありませんか。

先ほどの周辺道路の整備、これについて、関係ないかもしれませんが、今の西口再開発事業の一番大きな効果は、西口駅前広場だと思います。広場というのは、普通は再開発が進まないといけないのですが、よく工夫していると思います。直接関係ないかもしれませんが、そのような時期のアンケートならよかったと思います。再開発事業があまり進んでいない時期に駅周辺のことを聞いてもそんなにいい結果は出ないと思います。関連する事業でまだ終わっていないものもあるでしょう。保育園もまだ終わっていませんね。このアンケートが低いのはもっともだという気がします。少し時間が経ってからのアンケートのほうが良かったかもしれませんね。

それと、両方の事業、どの事業にどれくらいの交付金額だったのか記載がありましたね。交付金の金額について、それから終わってない事業等についても、もう一度説明してください。

(都市計画課)

それでは事業別の説明をしたいと思います。中心市街地地区の資料6の5ページです。

道路の市道779号線、歩行者・自転車道については、これは今年度終了に向けて、担当課で進めています。

(奥沢議長)

交付対象金額もお願いします。

(都市計画課)

金額につきましては、表に最終変更計画でございますが、百万単位なので3百万と7百万です。これは計画の値なので正確には異なるのですが、計画とし

ての金額です。

緑地については削除となりました。

バス情報板は都市計画課で現在行っております。

(奥沢議長)

ここには事業費が載っていて、交付金については、例えば保育園だったら2億5千2百万円の半分ということですか。

(関根都市整備部長)

資料6の1ページ目の右上に総事業費と補助率が載っておりますので、国費が5億9千2百万円の半分ということです。中心市街地地区の交付対象事業費は約6億円です。

(奥沢議長)

5割の補助ということは3億円くらい頂いているということですね。

(関根都市整備部長)

3億円近く頂いています。

(奥沢議長)

分かりました。閩戸貝塚周辺地区はどうですか。

(関根都市整備部長)

閩戸貝塚周辺地区は交付対象事業費26億円のうち、補助率が18.3%なので、約4億円くらいです。

この事業を行うために合計で約7億円国から頂いています。

(奥沢議長)

先ほど、6億円と言っていたのは何ですか。

(関根都市整備部長)

中心市街地地区の交付対象事業費が約6億円、補助率が50%ですので交付金が約3億円、閩戸貝塚周辺地区の交付金が約4億円、合わせて約7億円ということです。

交付対象になりますと起債が使えます。完成後には交付税の対象となりますので、ここに記載した4億円だけでなく、さらに増した効果があったと言えます。

(奥沢議長)

今後のまちづくりや課題などをまとめたところがありましたね。

それは次の計画のことなのですか。

(都市計画課)

国土交通省に中心市街地地区の新規計画を打診しております。

(奥沢議長)

両方とも継続ですか。

(都市計画課)  
中心市街地地区のみです。

(奥沢議長)  
中心市街地地区ですね。

(関根都市整備部長)  
基本的に1市1計画でして、蓮田市のように1つの市で2つの計画が交付対象になっているところは、稀有です。

(奥沢議長)  
中心市街地地区は、次もエントリーするということですね。中心市街地地区の事業の中でこれから何をやっていくかはこれから考えるのですか。

(都市計画課)  
新規計画の事業については、考えています。

(奥沢議長)  
その事業を地図と一緒に教えてください。

(都市計画課)  
まず中心市街地地区の資料6、2ページの赤い枠で囲ったところが中心市街地地区の範囲です。次期計画では若干異なりますが、概ねこの範囲です。

今、国土交通省の質問がきていまして、集中審議が終わっておりません。

ですから計画としてすべて不採択ということがありうるということを前提にお話しさせていただきます。

まず、主だった次期計画といたしましては、図書館の前にある「上町ふれあいの森」というのがありますが、そちらの再整備を予定しております。

また昔の都市再生整備計画で行いました「のくぼ通り」の歩道の平板ブロック化が途中で終わっておりますので、それを岩槻区の行政境までやりたいと思っています。あるいは、中央公民館の駐車場についても砂利の状態ですので、国のメニューの中では駐車場は40%ではなく10%の補助率なのですが、このようなものも行っていきたいと考えています。

それと街路灯の整備や道路の高質化としてカラー舗装化など、そのようなもので回遊性が高まることを願って行っております。

それから堂山公園に通じる遊歩道や、今回の中心市街地地区の計画では緑地を削除しましたけれど、その緑地も今回改めて載せております。

あと人間総合科学大学とのジョイント事業として、これはどうなるかわからないのですが、コラボしていろいろ事業をしようということを、まだ内部で検討しているところですが考えています。

そのような事業が中心となっております。

(金子都市計画課長)

補足します。資料の6の13ページ、右側に想定される事業というのがありまして、事務局から具体的な説明がありましたが、それについて、大まかにですが、ここに記載されていまして、これを次の計画で実現させていこうとしておりまして、現在国と調整中ということです。

|                       |  |
|-----------------------|--|
| <p>次回の予定<br/>について</p> | <p>(奥沢議長)<br/>     ありがとうございました。そろそろ時間となっております。<br/>     先ほど、事務局から配られました用紙に気づいた点がありましたら、お書きください。<br/>     これからのまちづくりや駅周辺のことなど、その他の欄になら何でも書くことができると思います。書き方にこだわらず、大事だと思うことを何でも御意見としていただいて、事務局でまとめてもらえればと思います。</p> <p>(関根都市整備部長)<br/>     会長がおっしゃったとおり、委員会の意見を今後の予算に反映していきたいと思っておりますので、総合的にまちづくりに大事だと思うことについて御意見を頂いて、それを計画に反映できればと考えております。</p> <p>(奥沢議長)<br/>     それでは諮問事項に関する本日の審議は以上です。<br/>     これをもちまして蓮田市社会資本整備総合交付金評価委員会は終了といたします。<br/>     再開発事業とサービスエリアにつきましては、次回は時間に余裕があると思っておりますので、次回、改めて説明をお願いします。<br/>     次回の予定など、事務局のほうからありますか。</p> <p>(都市計画課)<br/>     次回の都市計画審議会は、本日に引き続き、社会資本整備総合交付金評価委員会を開催し、蓮田市中心市街地地区および蓮田市閨戸貝塚周辺地区の事後評価について御審議していただきたいと存じます。<br/>     日程につきましては、平成31年1月24日(木)に開催が決定しておりますので、後ほど開催通知を送付させていただきます。<br/>     以上、よろしく願いいたします。</p> <p>(奥沢議長)<br/>     ありがとうございました。委員の皆様、何かありますか。</p> <p>(齋藤委員)<br/>     せっかく写真を載せているのに、文字と写真が逆さまのように見えます。</p> <p>(関根都市整備部長)<br/>     それは議論しまして、地図に合わせようとしてしました。ドローンで撮り直そうとしたのですが、間に合いませんでした。</p> <p>(奥沢議長)<br/>     他にはよろしいでしょうか。<br/>     ありがとうございました。以上で審議を終わります。</p> <p>(金子都市計画課長)<br/>     御審議、ありがとうございました。<br/>     先ほど、会議途中でお配りしました意見提出資料ですが、年明け早々になってしまいましたが、1月11日(金)までに提出いただきまして、事務局でまとめて次回の会議資料としたいと思っております。年末はさんでお忙しいなか恐縮ですが、よろしく願いいたします。</p> |
|-----------------------|--|



|        |  |
|--------|--|
| 6 閉会挨拶 | <p>それでは本日の会議の閉会にあたりまして本澤副会長よりあいさつをお願いいたします。</p> <p>(本澤副会長)<br/>平成30年度第2回蓮田市都市計画審議会を以上で閉会いたします。<br/>お疲れさまでした。</p> |
|--------|--|